

竹の子

第86号 平成23年11月23日(水)発行
発行責任者 坂井 正志
編集 明星会広報委員会

発行 社会福祉法人 明星会

〒250-0052 神奈川県小田原市府川752-5

TEL 0465-32-7740 E-mail info@takenokogakuen.jp

FAX 0465-32-7741 HP http://www.kanagawa-id.org/takenoko/

※ 利用者の個人名・写真の掲載についてはご本人とご家族の了承を得ておこなっています。



竹の子だより

明星会 竹の子学園
理事長 **安藤 進**



竹の子祭が、
ボランティア・
家族会・職員の
協力により盛大
に開催できます。
ことを心より感謝申し上げます。

竹の子祭は、地域の皆さまと利用
者がふれあいの場を通して、障害者
の事をご理解していただくとともに
障害者が地域で皆さまと一緒に生活
できるような環境を創ろうと始めた
お祭です。皆さまのお蔭で回をます
ごとに盛大になり、今年で十六回目
を迎えることができました。竹の子
祭の恒例の歌謡ショーや「春奈かお
りさん」をお迎えしてのステージで
ム、スタンプラリー、シャボン玉・
バルーン作り等のコーナーも設けて
ありますので、子どもも大人も利用



第16回

明星会 竹の子学園
家族会会長 **村野 慶**



に備えて何ができるか再度見直し、
災害時の準備をしております。地域
の皆さまが避難するスペース、非常
食も用意いたしました。地域の皆さ
まと手を取り合つて一緒に助け合う
ことが大切だと思っています。

障害者が地域で生活するには、施設
や支援職員の役割も重要ですが、最も
重要なことは地域の皆さまの障害者に
対するご理解、ご支援です。それらが
なければ障害者は住み慣れた地域で
生活ができません。竹の子祭で障害者
の皆さまとふれあいを深め、地域の皆
さまと一緒に地域で障害者が生活でき
るようご協力をお願いいたします。

竹の子祭は、利用者・職員・家族会と
地域の皆さまとのふれあいの場として一
日楽しく過ごしていただければ幸いです。

恒例になりました竹の子祭も
今年で十六回目
を迎えましたが
催にあたり、家族会・職員・ボランティ
ア・地域の皆様・行政関係者・関連業
者の方々のご協力に深く感謝と御礼を
申し上げます。

三月には増築したヴィーウールも出
来上りました。今まで本館二階作
業場でバザーや手芸の販売をしていま
したが今年は新築したヴィーウール一
階で販売することになりました。

家族会ではバザー・手芸・甘酒を販売して
おります。安く販売出来るよう努めます。
アトラクションでは歌手の春奈かお
りさんをはじめ、よさこい・エイサー
他の方々のご協力により竹の子祭をな
お一層盛り上げていただくことに感謝
いたします。

地域の方々に竹の子学園を知つてい
ただき、交流を深めたいと始めた『竹
の子祭』も毎回多くのみなさまにご来
園いただき、利用者・関係者一同たい
へん嬉しく思っております。本日は
ご来園ありがとうございました。

皆様のおかげ
で今回で第十六
回となりまし
た。バザーや手
芸品販売、農作
物販売、アトラクションなどの色々な
企画を用意しております。時間の許す
限り楽しんで頂ければと思います。今
回は東日本大震災被災地の施設、社会
福祉法人石巻祥会つくしの「さをり
織り」を販売いたします。少しでも復
興に向けてのお手伝いが出来ればと
思っております。好評を頂いているパ
ン工房ハッピー・バザー会場の出店場
所が変わつておりますので、お手数で
はございますがレイアウト表をご確認
下さい。近くのスタッフにも声をお掛け
下されば対応いたします。

地域の方々に竹の子学園を知つてい
ただき、交流を深めたいと始めた『竹
の子祭』も毎回多くのみなさまにご来
園いただき、利用者・関係者一同たい
へん嬉しく思っております。本日は
ご来園ありがとうございました。

竹の子学園が、新体系に移行して三年目を迎えました

障害者自立支援法に関しては、当

初から応益負担、日割り、障害程度区分等、様々な問題点が指摘されており、訴訟問題まで起きましたが、少しづつ修正が行われ、現在に至っております。障害者自立支援法は、はたして良い法律だったのか？議論が分かれるところですが、明星会としては、願望を込めて良い法律だった、としたいところです。そうでないと、猶予期間を残しながらも早々と新法へ移行した意味がなくなります。正直、良いところも悪いところもあったと思います。

障害者総合福祉法は、障害者自立支援法の反省をもとに、作られていますが、先の総合福祉部会の提言では、より強く地域移行がうたわれています。具体的には、施設入所者全員が、地域移行を見据えたサービス

明星会の現状と方向性

利用計画を作成し、それに基づき個別支援計画を立てなければならなくなります。いつまでに地域移行を、という期限は今のところありませんが、大きな変革には変わりありません。明星会では、来年の四月にグループホーム・ケアホームを一か所新しくオープンさせますが、残念ながら竹の子学園の入所者の移行はありません。入所者の家族にご理解を得ることが一番の課題となっています。

地域移行に伴い、日中活動の場の整備も課題となっています。現在、通所系は、竹の子ケアセンター二十名定員と、パン工房ハッピーの二十名定員の二ヶ所ですが、両事業所とも定員増が望まれています。パン工房ハッピーは、建物の問題でこれまで以上定員を増やすのは難しい状況ですが、竹の子ケアセンターではまでは、利用率%をめざし、その後、定員増に取り組む予定です。また、新規の事業に関しては、法律と地域のニーズに応えられる事業を模索中です。

(坂井)

平成二十一年五月に利用者の人権を侵害する不祥事が発生し、その後すぐに経験豊富な職員が中心となつて、なぜそのようなことが起きてしまったのか、今後どうしたらよいかなどと話し合う場を設けてきました。それまでも、明星会は、神奈川県の「あおぞらプラン」を遵守してきましたし、人権研修への参加も力を入れてきました。しかし、残念なことに不祥事が発生し、より一層、人権擁護への取り組みを強化することとなり、平成二十二年度より、人権委員会が発足されました。人権委員会では、各事業所の代表委員が月に一度、各部署での状況の報告とあおぞらプランを遵守したスローガンを掲げ、職員への意識向上を行い、また、職員会議で定期的にグループワークを開催しています。二度と過ちを繰り返さぬよう、また、信頼回復のため人権委員が中心となり取り組んでいます。

(佐藤良美)



節電の取り組みについての報告



三月十一日の東日本

大震災の影響により、厚生労働省の通達を受け、明星会でも七月より具体的な節電計画を始めました。東側食堂と西側居室に強い日差しを避けるように「必ず」「すぐれ」を設置しました。又、ケア室とヴィーカーに「ゴーヤ」を植えて「みどりのカーテン」を作り、ゴーヤの収穫も楽しみました。管理棟・居室等の蛍光灯を間引きし、必要のない時はこまめに電気を消す事をみんなで心掛けてきました。今年はかなりの暑さでしたが、極力工アコンのスイッチを入れず扇風機を活用し、外の暑い空気をものともせず、大汗をかきながら頑張ってきました。皆での努力の甲斐があり前年同月比で七・八月共に「マイナス十七%」の電力削減が出来ました。引き続き、節電の努力を行ない「がんばろう東日本」を合言葉にこの冬に臨みます。

(小島)

**竹の子
ケアセンター**

* レクレーション *



8月の土曜日レクでは、ケアセンター初のボーリングを行ないました。皆さんピンを目掛けて力いっぱいボールを投げられて、ストライクが出ると大喜びされていました。最後に2ゲーム総合点の順位発表し、大盛上がりで幕を閉じました。9月・10月は、皆さんにアンケートをとり1日レクレーションを実施しています。

9月のレクでは、横浜中華街に出掛けています。昼食バイキングでは、盛りだくさんの食事に皆さん満足されて、中華街を満喫されていました。

10月のレクは、ススキの見頃に箱根と東京観光へ出掛け楽しめています。

月に1度のイベントを皆さんに楽しんでもらえるよう、これからも楽しい企画を計画していきます。(細野)



まずは『けやき園』という施設を見学させていただき、震災時にどういう対応をしたか?震災後どんな約束事をしているか?などを施設長さんに質問してきました。

宿泊先はPICA富士西湖キャンプ場!夕飯は皆さんで焼き野菜カレーなどを作りました。「災害時はお水が少ないので、お皿を汚さないようにラップを敷くんですよ」と実践すると、皆さん「そうなんだー!」と感心していました。夜は花火やゲームを楽しみ、朝食には『けやき園』のパンを美味しいにただきました。

その他にもジャム作り体験や風穴探検など盛りだくさんな一泊旅行でした!(綱島)



パン工房
ハッピー

* 一泊旅行 *

竹の子学園 *スポーツレクレーション*



10月14日に小田原アリーナで今年もスポーツレクレーションを開催しました。毎年恒例の大玉転がしや綱引きなどに加え新競技のPK戦と復活した仮装リレーを行いました。

午前は全員参加の競技が多く、まさしくチーム戦といった感じで皆さん力を合わせて頑張っており「絶対に負けないんだ」という気持ちが溢れていました。午後は選抜メンバーでの競技でしたが、競技に参加しない方も応援に熱が入り、その応援で選抜メンバーの方も一層力が入っていました。



結果は3・4寮が優勝!昨年のリベンジを果たしました。準優勝に終わった1・2寮も来年に向けて意気込んでおり、皆さん笑顔でスポーツの秋を楽しんでいました。(廣澤)

7月8・9日
1班

一泊旅行 & レクレーション

今年は「防災の知識を深めよう!」をテーマに、7月29~30日に山梨方面に行ってきました。

S Lでは独特の匂いや搖れ、そして煙が特に印象的で目的地に着く頃には顔や服が炭で真っ黒に。とにかく貴重な体験でした。



現地ではスリル満点の長さ90m×高さ8mある夢の吊橋を渡ったりと天候にも恵まれ楽しい旅行となりました。(清田)

9月2・3日
2班

私たち2班は電車に揺られながら伊東温泉に行きました。

台風の影響でサボテン公園散策は断念しましたが、ボリューム満点の海鮮丼ランチを食しホテルでのんびり温泉に入りリフレッシュしました。

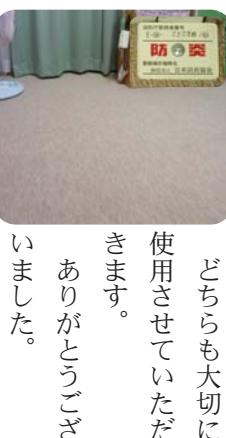


夜の食事は海の幸たっぷりのバイキングを味わう事もでき、楽しく過ごす事ができました。(土橋)

竹の子
ホーム

* 一泊旅行 *

（今野）
日、かながわ県民セ
ンターにて「神奈川
県本人の会希望 第
十四回本人シンポジ
ウム」が開かれまし
た。竹の子学園と竹の子ホームの利
用者の方が参加されました。当日は
五グループに分かれて行なう分科会
と交流会などが行なわれ、私たちは
防災について聞いてきました。東日
本大震災後ということもあり、皆さ
んとても真剣で、震災当日のことを
振り返りながら聞くことが出来まし
た。利用者Yさんは分科会終了後「日
頃から避難訓練をちゃんとやらな
きやね」と真剣にお話しをして下さ
りました。交流会では他施設
の方とお話ししす
ることが出来、
良い思い出にな
りました。



七月二十四日日曜
日、かながわ県民セ
ンターにて「神奈川
県本人の会希望 第
十四回本人シンポジ
ウム」が開かれまし
た。

竹の子学園と竹の子ホームの利
用者の方が参加されました。当日は
五グループに分かれて行なう分科会
と交流会などが行なわれ、私たちは
防災について聞いてきました。東日
本大震災後ということもあり、皆さ
んとても真剣で、震災当日のことを
振り返りながら聞くことが出来まし
た。利用者Yさんは分科会終了後「日
頃から避難訓練をちゃんとやらな
きやね」と真剣にお話しをして下さ
りました。交流会では他施設
の方とお話ししす
ることが出来、
良い思い出にな
りました。



共 同 募 金

「神奈川共同
募金会」より助
成金をいただき
き、竹の子学園



に『洗濯機』を、竹の子ホーム「ブ
リンスマンション」に『防炎カーペッ
ト』を、それぞれ購入いたしました。
竹の子学園で開設から使用してき
た『洗濯機』がついに寿命を迎え、
新しい洗濯機と交換いたしました。
さまで清潔を提供してくれることと
思います。

竹の子ホーム「プリンスマンショ
ン」および「第2プリンスマンショ
ン」では従来からカーペットを使用
してきましたが、防災への取り組み
意識が高まり、「防炎カーペット」
への張替え工事を行いました。

どちらも大切に
使用させていただ
きます。

ありがとうござ
いました。

おめでとうございます!!
全国社会福祉協議会会長より、多
年にわたる功績に対し、会長表彰を
受賞されました。

勤続功労三十年 坂井正志
本人より

「たくさんの方々に支えられて今が
あります。ありがとうございます。
これからもよろしくお願ひ致しま
す。」

おめでとうございます。

ますますのご活躍をお祈りいたします。

赤い羽根ケアセンター
共同募金活動



▼寄付

朝倉 寛様 石橋 良和様

清水 貴之様 佐藤 公大様
齊藤 太一様 山本 弥栄子様

和泉短期大学様 東京福祉大学様
洗足こども短期大学様 三の丸小学校様

中沼コスモス学園様 にじの丘足柄様
ほうあん第一しおん様

ほうあんふじみのさと様
レジデンスタウン湘南台様

小田原社会福祉協議会様
株式会社リンクライン様

株式会社新環境設計様
株式会社剣持技研様 タイヘイ株式会社様

アイエスサービス株式会社様
わかば調剤薬局様 さがみ信用金庫沼田支店様

北小田原病院様 本田理容店様



その他、今年も読売センター小田原
城北様のご好意により、近隣の皆様へ
の竹の子祭のチラシを配布していただきました。
ありがとうございました。

今年も竹の子祭にて七宝体験コーナーを開催します！世界にひとつだけの作品を作ってみてはいかがですか？他にも利用者さんが作った七宝も販売していますので、ぜひお越しください！

(安藤進太郎)

竹の子祭へむけて・・・ 皆さん 心をこめてつくってます！！



七
宝



創作班



今年の竹の子祭はパン工房ハッピーが移転をして、初めての竹の子祭です。

利用者さん達はやる気満々！新店舗で製造したパンを販売するのをとても楽しみにして



います。当日、おすすめ商品をみなさんにお声を掛けてまわりますね。お楽しみに！(安藤智美)

パン工房
ハッピー



秋

竹の子日和

今年の猛暑と残暑に負けずに、土作り、草むしり、種まき、水撒きと農業班の利用者さんが沢山の汗をかきながら日々の農作業に取り組み、作物を育てました！

毎年、大勢の皆様にご購入頂き利用者・職員一同大変嬉しく思っております。この気持ちを励みに日々の作業にお一層力を入れてより良い作物を育てます。今年も心よりご来場をお待ちしています♪(大橋)



農業班



今年も無事に竹の子祭を開催する事ができました。ご協力頂いた地域の皆さんやボランティアの皆さんに感謝申しあげます。

この一大イベントを利用者の方々はとても楽しみにしており、ご来場頂く皆さんにも喜んで頂けるよう各事業所一丸となって準備に取り組んでまいりました。

また、今回は東日本大震災の復興支援をテーマに掲げています。微力ではありますが復興の手助けができるたらと思いますので、ご協力頂けたら幸いです。(石井めぐみ)

編集後記

